

◎基本情報

事務事業名	道路橋梁耐震化・長寿命化事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系			根拠法令計画など	道路法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="16"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		道路			
施策	4	安全で快適な道路の整備			
基本事業	3	橋梁の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民・一般交通・物流等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	南海トラフ地震等の災害に備え、避難路等に架かる主要な10橋について耐震化を図る。 また、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁補修を行い、延命化を図る。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	○道路橋梁耐震化事業 うずしお橋修繕補強工事、城山2号橋耐震設計・修繕設計、学園橋修繕設計 ○道路橋梁長寿命化事業 長寿命化修繕設計、長寿命化修繕工事、橋梁点検						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		避難対象地区避難路確保人口率	95	95	95	100		%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	社会資本整備総合交付金(国庫補助金)を利用し、道路橋梁耐震化事業、道路橋梁長寿命化事業及び橋梁定期点検を実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 耐震化完了橋梁数	7	7	8	10		橋
	2 避難路確保人口	22,173	22,173	22,173	23,394		人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	避難対象地区避難路確保人口率	95	95	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	112,585	0	47,100	37,500	7,540	204,725
		補正予算額	△ 23,265	0	8,300	△ 12,500	11,740	△ 15,725
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	89,320	0	55,400	25,000	19,280	189,000
		決算額	89,292	0	55,400	22,554	17,661	184,907
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		2.5	0.0		17,833		202,740	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：道路橋梁耐震化・長寿命化事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	181,776	184,907	208,050	280,769	148,537
	うち一般財源	13,993	17,661	23,328	12,636	6,685
	人件費	17,833	17,833	17,833	17,833	17,833
	総事業費	199,609	202,740	225,883	298,602	166,370

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		橋梁耐震化目標を達成でき、同時に長寿命化事業に着手することができた。
	効率性	A:効率的だった		橋梁耐震化目標を達成でき、同時に長寿命化事業に着手することができた。
②成果に対する評価	指標名	避難対象地区避難路確保人口率		計画どおり、目標を達成することができた。
	目標	95	%	
	実績	95	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		活動に対する評価及び成果に対する評価が、十分な成果をあげることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	引き続き、主要な橋梁のうち、未対策である橋梁の耐震化を図り、計画どおりに完了を目指す。また、老朽化した橋梁の長寿命化を行うことにより、今後増大が見込まれる橋梁の修繕、架替に要する費用を縮減し、計画的な修繕及び予算の平準化を図る。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	うずしお橋の耐震工事を完了させる。 鳴門市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕を計画的に実施する。			
	H30年度	学園橋及び城山2号橋の耐震工事を完了させる。 鳴門市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕を計画的に実施する。			